

■ 関節痛から考えられる主な病気

関節の痛みから推察される病気は下記の通りです
症状の詳細に関しましては割愛いたします。ご了承下さい。

疾病群	病気名	主な症状
膠原病	全身性エリテマトーデス	両頬に紅斑(エリテマ症)が出来る。発熱や疲労感が伴う。
	関節リウマチ	関節のこわばり、関節の痛み等。
	シェーグレン症候群	ドライアイ、ドライマウス、疲れ目。味覚異常等。
	強皮症	皮膚の硬化現象等。
	リウマチ熱	関節の痛みや腫れ、発熱等。心不全症状。
	多発性筋炎・皮膚筋炎	筋力の低下(病状の進行は遅い)、筋肉痛等。
	混合性結合組織病	全身性エリテマトーデス、多発性筋炎・皮膚筋炎、強皮症 の合併症
その他	結節性多発動脈炎	腹痛、血痰、発熱、体重減少、皮膚の潰瘍、貧血、胸痛、高血圧等
	痛風	突然足の親指のつけ根等に激痛がはしる。
	変形性関節症	膝や手・足・股関節などの関節部分に痛み。
	骨肉腫	関節に痛みや筋肉痛に似た痛み。腫れ等。
	ペルテス病	3～10代前半の男子に多い。股関節や膝関節に痛み。
化膿性関節炎	肩・太もも・膝に痛みや腫れ。発熱や寒気の症状。	

● 膠原病について

上記の表にありますように、関節の痛みの多くは膠原病等の初期症状に見られるものが多く、
膠原病は主に女性に多く、特に年齢層は決まっています。

特定疾患にも登録されているが、その症状によって異なるので注意が必要です。
膠原病は正式には結合組織病といわれるが、日本では膠原病の名称で呼ばれていますが、
症状は上記表からもわかるように実に多種多様です。

残念ながら・・・

この膠原病は、2010年現在において根治する方法が未だありません。
ただし、ステロイドや免疫抑制剤等で病気の症状をコントロールは可能です。
早期発見であれば、薬を投与しながら生活を送ることも出来るようになってきています。

膠原病に関してはなかなか発見も難しいといわれています。
可能であれば専門医への診断が望ましいですが、もし医師の診断結果に不安であれば、
セカンドオピニオンなどの利用が好ましいでしょう。

